

《研修生募集要項》

研修の目的	中小企業者または、その従業員に対し技術に関する基礎理論、応用知識およびこれに関連する必要な事項等を研修することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とします。
研修期間と時間	令和5年7月7日～10月27日（8月11日、8月18日休み） 原則として毎週金曜日 午前9時30分～午後4時30分（昼1時間休憩） 講義・実習 計90時間
研修場所	名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目4-41
募集人員	定員10名（同一企業からのお申し込みは、2名まで）
受講料	60,500円（税込）
修了証書	所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より修了証書が交付されます。
申込方法	<p>受講希望者は添付の受講申込書、または https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/gikenshu.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（数日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。）</p> <p>本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。*大企業からのお申込みについては、中小企業者からの受付状況をふまえ、順次受講の可否のご連絡をいたします。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。</p> <p>※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。</p> <p>〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 電話(052)654-1653 FAX(052)661-0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp</p>
募集締切日	令和5年6月16日（金）17時必着
受講料の納入	募集締切後、 <u>受講料の請求書をお送りしますので</u> 、開講日前日までにお振込みをご予定ください。
その他	<p>○納入された受講料の払戻しはいたしません。</p> <p>○講義日程等は変更することがあります。</p> <p>○研修中の事故については、一切責任を負いません。</p> <p>○本研修を受講された受講生の事業主に対して、要件を満たす場合、「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。</p>

— 助成金制度の詳細やお問合わせ先 —
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

《研修科目と講師》

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
やさしいめっきの電気化学	7/7 (金)	3	鍍金技術研究会 久米道之	めっきを電気化学の視点からやさしく解説。
無電解めっきとプラスチックめっき		3	名古屋市工業研究所 表面技術研究室 浅野成宏	無電解めっきの基礎とその応用、また無電解めっきの重要な用途であるプラスチックめっきについて解説。
腐食と防食	7/14 (金)	3	名古屋市工業研究所 表面技術研究室 浅野成宏	腐食の種類と原因および防食に対する基礎について解説。
電気めっき		3	名古屋市工業研究所 表面技術研究室 田辺智亮	電気めっきに関わる基礎とその応用について解説。
電気化学計測	7/21 (金)	6	名古屋大学 市野良一	電流-電位曲線、インピーダンス等電気化学測定法の基礎および実習。
※めっき実習 (めっき膜の作製と評価)	7/28 8/4 (金)	12	名古屋市工業研究所 表面技術研究室 浅野成宏 松村大植 田辺智亮 金属材料研究室 中村浩樹	ニッケルめっき膜の作製とその断面組織観察。 ニッケルめっき膜の硬度測定。 ハルセルテストによるニッケル、亜鉛めっき浴管理。 亜鉛めっき膜の作製と耐食性評価。 めっき浴組成の分析。
表面機能膜の評価	8/25 (金)	3	名古屋市工業研究所 表面技術研究室 田辺智亮	めっきを中心に表面機能膜の各種評価方法を解説。
塗料・塗装の基礎技術		3	関西ペイント(株) 森健二	塗料・塗装に関する不具合事例を取り上げ、その対策を説明。また近年の自動車水性塗料の技術動向について紹介。
表面技術における金属学および加工学	9/1 (金)	3	名古屋市工業研究所 金属材料研究室 杉山周平	金属・合金組織、状態図の見方など。
排水処理とリサイクル		3	(株)三進製作所 北川富則	最近の排水処理技術、リサイクルの動向を解説。
プラズマ表面処理	9/8 (金)	3	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 巢山拓	プラズマ技術の基礎と減圧及び大気圧プラズマ技術の応用について解説。
医療分野における表面処理		3	名古屋大学 黒田健介	生体材料用の金属やセラミックス、ポリマーの各種表面処理と生体活性評価法について解説。その応用技術についても紹介。

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
金 属 着 色	9/15 (金)	3	鍍金技術研究会 久 米 道 之	ステンレス鋼、チタンを中心に、各種金属の着色法について表面改質技術の観点から解説。
め っ き の 自 動 化		3	(株)中央製作所 後 藤 啓 太	めっき制御システムの自動化を中心に、めっきの自動化について解説。
陽 極 酸 化	9/22 (金)	3	愛知工科大学 近 藤 敏 彰	アルミニウムの陽極酸化に関する基礎と応用について解説。
化 成 処 理		3	日本パーカライジング(株) 内 山 瑛	塗装下地、耐食性向上等、多目的に使用される化成処理の基礎、特性を解説。
溶 融 亜 鉛 め っ き	9/29 (金)	3	(株)興和工業所 諸 岡 俊 彦	溶融亜鉛めっき、溶融亜鉛合金めっきの説明と他の溶融めっきの紹介。
自 動 車 の 表 面 処 理		3	名古屋大学 別 所 毅	自動車に利用される各種表面処理技術の特性とその適用例、今後の課題など。
ドライプレATING - P V D ・ C V D -	10/6 (金)	3	鍍金技術研究会 久 米 道 之	PVD及びCVDを中心に、ドライプロセスの基礎を解説し、皮膜の特徴、応用について解説。
表 面 熱 処 理 の 基 礎		3	豊田工業大学 奥 宮 正 洋	浸炭、窒化、高周波焼入れなど、硬化処理を中心に表面熱処理の基礎を解説。
※ 表 面 分 析 実 習 (講 義 と 実 習)	10/13 10/20 (金)	12	名古屋市工業研究所 表面技術研究室 浅 野 成 宏 岸 川 允 幸 川 瀬 大 聡 松 村 植 亮 田 辺 智 亮 金属材料研究室 岡 東 寿 明	各種表面処理品の外観、断面観察。 X線光電子分光法の基礎と応用について解説。 X線回折の基礎と応用について解説。 環境規制物質の分析について解説。
機 能 め っ き	10/27 (金)	3	鍍金技術研究会 久 米 道 之	合金めっき、複合(分散)めっきを中心に、機能めっきの考え方と応用について解説。
電 子 部 品 へ の め っ き 技 術		3	関東学院大学 赤 星 晴 夫	電子部品のめっきについて、最近の話題を中心にやさしく解説。

連絡先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話 <052> 654-1653 F A X <052> 661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp

中小企業技術者研修受講申込書

令和 年 月 日

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社ものづくり人材育成課 FAX 052-661-0158

令和5年度中小企業技術者研修の【表面機能化技術 研修】受講を申し込みます。

(ふりがな) 社名	URL :		
代表者	役職	氏名	生年月日 年 月 日
本社所在地	〒 TEL() - FAX() -		
資本金	万円	従業員数	名
業種 (下記一覧より記載)		主要製品	

受講者	
所属・役職	ふりがな 氏名
勤務地	〒
連絡先	TEL FAX
担当業務	

連絡責任者	
所属・役職	ふりがな 氏名
請求書等送付先	〒
連絡先	TEL FAX

E-mail :
※よろしければ、関連する研修等のご案内をさせていただきますので、ご記入下さい。

(業種分類一覧)

0001 食料品製造業	0012 なめし革・同製品・毛皮製造業	0023 輸送用機械器具製造業	0034 学術研究、専門・技術サービス業
0002 飲料・たばこ・飼料製造業	0013 窯業・土石製品製造業	0024 その他製造業	0035 宿泊業、飲食サービス業
0003 繊維工業	0014 鉄鋼業	0025 農・林・水産業	0036 生活関連サービス業、娯楽業
0004 木材・木製品製造業(家具を除く)	0015 非鉄金属製造業	0026 鉱業	0037 教育、学習支援業
0005 家具・装備品製造業	0016 金属製品製造業	0027 建設業	0038 医療、福祉
0006 パルプ・紙・紙加工品製造業	0017 はん用機械器具製造業	0028 電気・ガス・熱供給・水道業	0039 複合サービス事業
0007 印刷・同関連業	0018 生産用機械器具製造業	0029 情報通信業	0040 サービス業(他に分類されないもの)
0008 化学工業	0019 業務用機械器具製造業	0030 運輸業	0041 公務(他に分類されるものを除く)
0009 石油製品・石炭製品製造業	0020 電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031 卸売・小売業	0042 分類不能の産業
0010 プラスチック製品製造業	0021 電気機械器具製造業	0032 金融・保険業	
0011 ゴム製品製造業	0022 情報通信機械器具製造業	0033 不動産業・物品賃貸	

※ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当社の開催する研修の案内など研修の円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。